

ワークス・ジョブカレ通信

～ココロつなぐかけ橋～ 10月号

平成28年10月1日発行
社会福祉法人 グロー
～生きることが光になる～
びわ湖ワークス・ジョブカレ
東近江市躰光寺町250番地
TEL0748-42-3715

今月の1枚



けんこう たいせつ 健康は大切です！

けんこうしんだん じっし 健康診断を実施しました

とうじょうしよ りようしゃ たいしやう まいとしけんこうしんだん じっし しんたい けつあつそくてい ほか けつえき
当事業所では利用者さんを対象に、毎年健康診断を実施しています。身体・血圧測定の外に、血液・
にようけんさ けつかくけんしん おこ さいけつ きんちやう りようしゃ ぜんいん
尿検査および結核健診を行ないました。採血に緊張する利用者さんもいらっしゃいましたが、全員
じゆしん じごと うえ けんこう たいせつ たいちやうかんり じゆうぶん けんこう いしき
受診できました。仕事をしていく上で健康はとても大切です。体調管理を十分にし、健康を意識し
た生活を送っていきましょう。

びわ湖ワークス パン紹介

びわ湖ワークスでは製菓作業としてパンを焼いています。法人内施設から注文をいただいた給食用のパンを焼いたり、お昼休みに販売に出かけたりもしています。今月のおすすめはメロンパン！カリカリのクッキー生地とふわふわのパンは焼きたてならではのパンを焼いている日は変動がありますが、木曜日はほぼ毎週焼いています。予約による注文を承っております。焼き上がりはお昼頃となります。びわ湖ワークスまでお気軽にお問合せ下さい。



ぶらりまちかど いっぺき大繁盛！

9月25日に五個荘でぶらりまちかどという行事があり、近江商人や大正時代の衣装を身につけた時代絵巻行列が行われました。びわ湖ワークスが経営する「うどんと喫茶の店いっぺき」の前にも行列が通り、たくさんのお客様が来店されました。この日は店舗の庭にもテーブルを置き、利用者さんと職員増員で対応！暑さもあってか、冷たいきつねうどんやかき氷が大人気でした！みなさんもいっぺき自慢のうどんをぜひ食べてみてくださいね。



行事予定

- 5日 発達公開講座
- 6・20日 ジョブカレ会議
- 12・26日 ワークス支援会議
- 13日 生産力向上セミナー
- 21日 太極拳
- 23日 能登川ふれあいフェア
- 24日 びわ湖ワークス・ジョブカレ研修会
- 25日 エリアミーティング



10月の主な作業

- 自主製品
 - ・製麺作業 ・製菓作業
 - ・「いっぺき」にて接客業務 ・弁当づくり
 - ・自主製品販売
- 施設内作業
 - ・部品組み立て ・ケーブル巻き
 - ・部品検品 ・ペットボトルキャップ洗浄
 - ・梱包シール貼り・たとう紙
- 施設外就労
 - ・部品組み立て ・配線パイプ通し
 - ・部品検品洗浄 ・掃除機部品組み立て
 - ・部品袋詰め
- 施設外作業

私の趣味、こだわり

～職員リレートーク2～

生活支援員 吉田泉

私は映画を観に行くのが好きです。大画面で迫力ある映像、音楽を体感したいからです。もちろんテレビでも映画は観ますが、CMなどで面白そうだな、と思ったものは映画館へ行きます。でもお金を払って観るのですから、相応の価値のある作品を選びます。大迫力を体感できる作品でないと。だから恋愛モノは観ません。(好きなメンズたちが出演するものは夜中にチケット取り行きますが。)子どもを連れて行きますが、最近は親が思う面白さと違うようでブーイングです。親としては迫力を体感、ストーリーで感動する事で感性が豊かになればとなるべく連れて行くようにしています。最近では虎が跳びかかってきて食べられそうになったり、ゴジラに、にらまれたりと、迫力ある瞬間を体感しましたが、いかがですか？

お知らせ

びわ湖ワークス・ジョブカレ研修会を 実施します

研修テーマ：発達障害者の支援を考える
～就労にたどりつくために～

日時：10月24日(月) 13:30～16:30

会場：滋賀県庁東館7階 大会議室

講師：肥後祥治氏(鹿児島大学教育学部教授)

能登川ふれあいフェアに出店します

日時：10月23日(日) 9:30～15:00

会場：東近江ふれあい運動公園

びわ湖ワークスから、きつねうどんや山菜ご飯、菓子パンを販売します。みなさんぜひお越しください。

ゴールドスター通信

ゴールドスターの会では、11月13日(日)に能登川スポーツセンターにてスポーツ大会を行ないます。みんなで楽しんでいい汗をかきましょう！来月号にて活動の様子を掲載予定ですので、どうぞ楽しみに。

日々是好日～このごろ思うこと～

待ってました！新米。

久しぶりに娘がうちに来ると言うので、何が食べたい？と聞くと、答えは意外にも「ママの弁当」。料理は得意とは言えないし、特別な弁当を作ってあげた記憶もない。コンビニでパンでも買って！と言った日も多かったように思う。新鮮な気持ちで、弁当箱をどれにしようか選び、娘が好きな唐揚げや卵焼きを詰めて彩りや栄養を考えた。赤いバンダナで包んだ弁当を開けると娘は「わあ、懐かしい」と声をあげた。学校にいる長い時間の中で「ママに感謝！」と思える時間が唯一弁当の時間だったなあと。作る側も、食べる側を思いながら作っている時間が楽しかった。この7月から65歳にして、13年ぶりに就職した夫。毎日弁当を持参している。娘の話に共感し、うなづいていたが「キャラ弁だけはやめてくれ」と笑う。娘のリクエストのおかげで、それぞれの思いを語り合えた。家にいながらにして弁当を作って食べるのも悪くない。実りの秋。新米を炊いて明日の弁当を考えている。

編集後記

初めていっぺきで接客をしました。お客さんからの「ありがとう」という言葉が嬉しかったです。(N)